



# 緩和ケア

看護部 野田 陽子

## ACP(アドバンス・ケア・プランニング)とは？

がんという病気だけでなく、その他の原因なども含め、自分自身で判断が難しくなる状況に備えて【終末期を含めた今後の医療・ケア】や【自分に変わって、自分の意思を伝えてくれる人】について、家族など周囲の信頼する人たちや医療・ケアチームなどと前もって考え、繰り返し話し合い、共有する取り組みのことを言います。

ACPにより、もしもの時に、望んだ治療・ケアを受け、望んだ環境であなたらしい(自分らしい)時間を過ごせる可能性が高くなります。

### ACPのポイント

1

- あなたの気持ちや価値観をよくわかってくれる人は、誰になるのか考えましょう

特定の方がおられない場合は、医療・ケアチームがあなたの気持ちや価値観を尊重しながらサポートしていきます

2

- 「大切にしたいこと」「してほしいこと」を伝えましょう

例:ひとりの時間が保ちたい、家族の負担になりたくない  
少しでも口から栄養をとりたい、ペットと一緒に過ごしたい  
身の回りのことは自分でしたい、痛みや苦しみは嫌だ など

3

- 心身の状態に応じて、希望は「変わっても良い」一つではない
- 「一回で決めなくてもいい」繰り返し話し合しましょう
- あなたが「知りたくない」「考えたくない」ときは、無理しない

「あなた」という表記には、患者さんご自身だけでなくもちろん 患者さんのご家族も含まれています。